

石油資源開発株式会社 カーボンニュートラル天然ガス・LNG 供給における運用システム 妥当性確認報告書

石油資源開発株式会社

代表取締役社長 社長執行役員 藤田 昌宏 殿

1. 妥当性確認対象

ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社(以下、「SOCOTEC」という。)は、石油資源開発株式会社(以下、「組織」という。)の依頼により、組織が定めるカーボンニュートラル化の対象となる天然ガス・LNGのGHG排出量計算方法及びカーボンオフセットによるカーボンニュートラル化のための運用手順である「カーボンオフセット天然ガス・LNG等の販売に関する運用要領 Ver.7」(以下、「運用ルール」という。)に基づき、カーボンニュートラル天然ガス・LNGメニュー(以下、「CN-天然ガス・LNG」という。)のGHG排出量が適切に算定され且つカーボンニュートラル化の手順が適切に運用されるかについて、「カーボンニュートラル天然ガス・LNG算定及び運用システム」(以下、「CN-天然ガス・LNG算定及び運用システム」という。)に対する意見を表明するために妥当性確認を行った。

本件の目的は、「CN-天然ガス・LNG算定及び運用システム」の妥当性を客観的に評価し、算定されるCN-天然ガス・LNGの信頼性をより高めることにある。

2. 妥当性確認概要

SOCOTECは、「運用ルール」並びに「カーボンニュートラルリティの実証のための仕様」(PAS2060:2014)を参照し、ISO14064-3の要求事項を参照したSOCOTECの手順に基づいて妥当性確認手続きを実施した。妥当性確認対象範囲は販売対象ガスのLC(Life Cycle)CO₂排出量、オフセットで使用されるクレジット量並びに販売されるCN-天然ガス・LNGの運用システムである。LCCO₂排出量とは、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの段階で排出されたGHG排出量のことをいう。保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準は想定される総排出量、オフセットで使用されるクレジット量並びにCN-天然ガス・LNG販売量の5%とした。

妥当性確認手続きでは、組織において、「CN-天然ガス・LNG算定及び運用システム」におけるCN-天然ガス・LNGのLCCO₂排出量の算定バウンダリー、算定体制を確認し、「運用ルール」に従って販売対象ガスのLCCO₂排出量、CN-天然ガス・LNGのためにオフセットで使用されるクレジット量並びにCN-天然ガス・LNG量が適切に算定され且つ運用されるかについて確認した。

3. 妥当性確認の結論

組織による「運用ルール」に基づき、販売対象ガスのLCCO₂排出量、CN-天然ガス・LNGのためにオフセットで使用されるクレジット量並びにCN-天然ガス・LNG量が適切に算定・運用されない事項は発見されなかった。

4. 留意事項

「CN-天然ガス・LNG算定及び運用システム」の責任は組織にあり、本妥当性確認に関する責任はSOCOTECにある。

組織とSOCOTECとの間には、特定の利害関係はない。

ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

執行役員社長 二場 誠吾



Seigo Futaba

2023年6月30日